

【専門科目領域/専門基礎科目群/人間の構造や機能と疾病の成り立ち】

科目名		ナンバリング		区分（必修・選択）	単位数	履修年次	開講学期等
疾病治療論Ⅶ		NSF22_005		必修	1	2	前期
担当教員		研究室		電子メール ID		オフィスアワー	
堀口 まり子 他		410		mariko.horiguchi		火曜日 1440～17:50	
授 業 の 目 的 ・ 概 要		疾病治療論では、看護の対象理解に必要な疾病の成り立ちと病因、症状を理解するとともに、診断に必要な検査、治療法、予後について学ぶ。 疾病治療論Ⅶでは、アレルギー・膠原病・感染症、皮膚疾患、眼疾患に関して、臨床で経験する頻度の高いものを中心に理解を深める。					
授 業 形 式 ・ 方 法		☒対面授業 ☐遠隔授業(双方向型) ☐遠隔授業(自主学習) ☒講義 ☐実習 ☐実技 ☐PBL ☐グループワーク ☐その他（ ☐反転授業 ☐プレゼンテーション ☐実習・フィールドワーク					
学 習 上 の 助 言		人体機能構造学と病理学の教科書で予習を行うこと。人体機能構造学と病理学で学習した内容が疾病治療論に繋がっていることを認識し、同様に今学んでいる疾病治療論で学習した知識がこれから学習する看護学専門分野を学習する上で必要になることを認識して学習すること。					
教 科 書		・ 専門分野(2)成人看護学<11> 第16版 アレルギー・膠原病・感染症(系統看護学講座) /医学書院 ・ 専門分野(2)成人看護学<12> 第16版 皮膚(系統看護学講座) /医学書院 ・ 専門分野(2)成人看護学<13> 第15版 眼(系統看護学講座) /医学書院					
参 考 書		ハリソン内科学 第5版 /日本語版監修:福井次矢、黒田清 /メディカルサイエンス・インターナショナル /2017					
外 部 教 材		特になし					
学生が達成すべき行動目標					関連卒業認定・学位授与方針		
①	臨床的な重要な疾患についての基礎的な知識と考え方を習得できる。				HSU(1)(2),NS(1)(5)		
授 業 計 画							
回	学習内容等			授業方法	学習課題・学習時間（時間）		
1	皮膚科（1）（担当：樫本） 皮膚の構造、皮膚疾患について学習する。			講義	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。		
2	皮膚科（2）（担当：樫本） 褥瘡、熱傷について学習する。			講義	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。		
3	眼科（1）（担当：樫本） 目の構造と生理について学習する。			講義	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。		
4	眼科（2）（担当：樫本） 目の疾患について学習する。			講義	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。		
5	アレルギー性疾患（1）（担当：藤井） 免疫の働きについて学習する。			講義	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。		
6	膠原病（1）（担当：藤井） 膠原病について学習する			講義	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。		
7	感染症(1)（担当：鈴木） 感染症の概略、動向等について学習する。			講義	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。		
8	感染症(2)（担当：鈴木） 主な感染症について学習する。			講義	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。		
試	達成度評価・評価のポイントを参照						

【専門科目領域/専門基礎科目群/人間の構造や機能と疾病の成り立ち】

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
総合力指標	知識・技術力	100	0	0	0	0	0
	思考・推論・創造する力	80	0	0	0	0	0
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	0	0
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0	
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	定期試験は講義全体について実施する。			試験問題について講義の内容を踏まえて解説する。必要に応じフィードバックの時間をしっかり確保する。	
レポート	①						
成果発表	①						
ポートフォリオ	①						
その他	①						
備 考							
他 担 当 教 員		樫本 温、藤井 充、鈴木 哲也 本科目において連絡調整をする看護教員：堀口まり子					
教 員 の 実 務 経 験		(科目担当者は医師免許を取得して 40 年以上の経験を持っている。) 医師として臨床経験を有する。					
実践的授業の内容		臨床現場で遭遇することが多い疾患とその問題点を踏まえ、現場で有効に役立てる知識の提供に努める。					
そ の 他		学習内容は、講義の進捗度によって前後する可能性がある。					